

# 高知県感染症発生動向調査（週報）

2018年 第50週 （12月10日～12月16日）

## ★お知らせ

### ○インフルエンザに気を付けて！

高知県全域で今シーズン初めて流行の目安とされている1.00を上回りました。

定点医療機関当たりの報告数は第49週の0.71から第50週は1.15と増加しています。県全域から報告があり、中央西、須崎、幡多、安芸で急増、高知市で増加しています。

インフルエンザ定点医療機関における迅速診断ではインフルエンザA型が52件、インフルエンザB型が1件、不明2件の報告があり、病原体検出情報では、第50週に須崎から搬入された検体からInfluenza virus AH1pdm09が1例、高知市から搬入された検体からInfluenza virus A H3 NTが2例検出されています。

国内のインフルエンザウイルスの検出状況は、直近の5週間（2018年第46～50週）ではAH1pdm09の検出割合が最も多く79.6%、次いでAH3が19.4%、B（ビクトリア系統）が1.0%の順でした。

インフルエンザは、その年により流行の程度に差がありますが、例年11月頃から患者が増え始め、12月から3月頃にかけて流行します。感染力が強く、いったん流行が始まると、短期間に多くの人へ感染が拡大することから、集団生活の場では特に注意が必要です。

インフルエンザワクチンには、インフルエンザウイルスに感染した場合に発症を一定程度抑える効果や重症化を予防する効果が認められており、ワクチンを接種してから抗体ができて予防効果が発現するためには、およそ2週間かかると言われています。予防対策の1つとして予防接種をご検討ください。

＜予防方法＞ 手洗いと咳エチケットを心がけましょう

インフルエンザの主な感染経路は咳やくしゃみの際に口から発生される小さな水滴（飛沫）による飛沫感染であることから、感染予防のため以下の咳エチケットに心がけてください。

- （1）普段から皆が咳エチケットを心がけるとともにくしゃみを他の人に向けて発しないこと。
- （2）咳やくしゃみが出るときはできるだけマスクをすること。
- （3）手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗うこと。

●厚生労働省 「インフルエンザ総合ページ」

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infuleenza/index.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/infuleenza/index.html)

### ○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第49週の4.37から第50週は4.10と横ばいです。県全域から報告があり、安芸で急減、高知市で減少していますが、中央西、幡多で増加しています。

学校欠席者・感染症情報システム※でも10例の報告があることから注意が必要です。

定点医療機関からのホット情報では、ノロウイルスを原因とする胃腸炎5例や、病原性大腸菌、エルシニア属菌等細菌を原因とする胃腸炎4例の報告があります。

病原体検出情報では臨床診断名「感染性胃腸炎」からNorovirus GII NTが1例、Adenovirus 2が1例、*Salmonella Enteritidis*が1例検出されています。

感染性胃腸炎は年間を通じて発生していますが、特に冬季にはノロウイルス等ウイルスによる胃腸炎の流行がみられます。特に、ノロウイルスは感染力が強く、少量のウイルスでも感染するため、保育園や幼稚園、学校や社会福祉施設など集団生活の場で大規模な流行となることもあり注意が必要です。

＜予防方法＞ 手洗いが有効です

帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんと流水でしっかりと手を洗いましょう。

便や嘔吐物を処理する時は、感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用を確認したうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

また、細菌による感染性胃腸炎の予防対策としては、食中毒の一般的な予防方法（食中毒菌を①付けない（洗う・分ける） ②増やさない（低温保存・早めに食べる） ③やっつける（加熱処理））です。食品の冷所保存を心がけ、長期保存は避ける、加熱は十分にするなど、日常生活での食中毒予防を心がけてください。

●厚生労働省 「ノロウイルスに関する Q&A」

[http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html](http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html)

●衛生研究所 「高知県ノロウイルス対策マニュアル」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/norovirus.html>

## ○咽頭結膜熱に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は第 49 週 0.33 のから第 50 週は 0.47 と増加しています。幡多で急減していますが、須崎、中央西で急増、高知市で増加し、特に須崎、中央東では注意報値を超えています。

定点医療機関からのホット情報では、アデノウイルスによる扁桃炎や胃腸炎の報告が 4 例や「アデノウイルス感染症増加中」との報告があります。

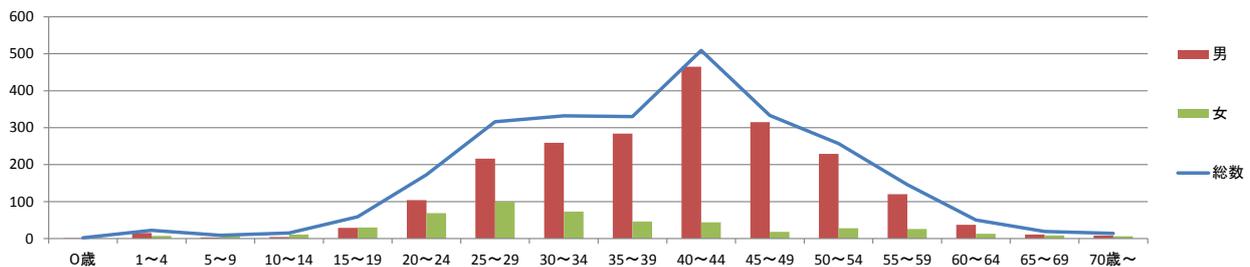
＜予防方法＞ 主に接触感染、飛沫感染、患者の便により感染が拡大します

手洗い・うがいが大切です。流水と石けんでよく手を洗いましょう。また、幼稚園、保育園、学校など集団生活ではタオル・コップ等を共用することは避けるなどして、感染予防に努めてください。

## ○風しんの届出数が多い状態が継続しています

関東地方を中心に風しんの報告が多い状態が継続しています。全国の患者数 2,586 人（第 49 週まで）のうち 96%（2,479 人）が成人で、30 歳から 50 歳代の男性を中心に男性が女性の 4.3 倍多くなっています（男性 2,100 人、女性 486 人）。

第49週までの風しん報告数(年齢別・性別)



報告数の多い都道府県は、東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、福岡県以外に大阪府、愛知県、茨城県、兵庫県、静岡県など首都圏以外の地域からも報告が認められています。

今後、高知県でも感染が拡大する可能性がありますので注意してください。

### 【風しんについて】

症 状 : 発熱、発疹、リンパ節の腫れ

感 染 経 路 : 患者の咳やくしゃみのしぶきによる飛沫感染および接触感染でヒトからヒトへ感染

潜 伏 期 間 : 2~3 週間程度

感染性のある期間: 発疹のでる 7 日前から発疹出現後 7 日くらいの間

### 【風しんを疑ったら】

発熱や発疹など風しんに特徴的な症状が現れた方は、必ず事前に医療機関に連絡の上、受診してください。

### 【予防方法】

- ・風しんの予防、感染の拡大防止には予防接種が効果的です。  
風しんの定期接種対象者は、予防接種を受けましょう（1 歳児、小学校入学前 1 年間の幼児の方）
- ・風しんに感染した方の周りに抗体の低い妊婦がいる場合、特に妊娠 20 週頃まで（妊娠初期）の女性が風しんに罹ると胎児が風しんウイルスに感染し、難聴や心疾患など様々な障害（先天性風しん症候群）をもった赤ちゃんが生まれる可能性があります。妊婦や赤ちゃんを守る観点から妊婦の周りの方（夫、子供及びその他の同居人）は風しんに罹らないように予防に努めましょう。

### 【各医療機関管理者の皆様へ】

（高知県健康対策課 平成 30 年 8 月 17 日付け 30 高健対第 859 号「風しんの届出数の増加に伴う注意喚起」より）

- ① 発熱や発疹を呈する患者を診察した際は、風しんに罹っている可能性を念頭に置き、最近の海外渡航歴及び国内旅行歴を聴取し、風しんの予防接種を確認するなど風しんを意識した診察をお願いいたします。
- ② 風しんを疑う患者を診察した際は、確定診断のためのウイルス検査を県衛生研究所で行うので、直ちに最寄りの福祉保健所又は高知市保健所へ届け出るようお願いいたします。

●風しん Q&A2018 年 1 月 30 日改訂版(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/rubellaqa.html>

●風しんについて（厚生労働省）

[https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\\_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/](https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/)

●衛研ニュース第 20 号（高知県衛生研究所）30~50 歳代の男性！風しんのことを知っていますか？

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2018101000056.html>

※ 学校等欠席者・感染症情報システム：県内小中高等学校における疾病別患者数情報システム



## ☆ダニの感染症（日本紅斑熱・SFTS・つつが虫病）に注意！

### 【日本紅斑熱・SFTS】

「日本紅斑熱」や「SFTS（重症熱性血小板減少症候群）」は屋外に生息するダニの一種で、比較的大型（吸血前で3～4mm）の「マダニ」が媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖かい春から秋にかけて盛んに活動し、この期間に多くの患者発生がみられますが、冬でも発生例が報告されています。これから寒い季節となりますが、屋外で活動される場合はマダニ対策を心がけましょう（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

#### 【マダニに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。
- ペットの散歩等でマダニが付き、家に持ち込まれることがありますので注意しましょう。

### 【つつが虫病】

「ツツガムシ」に咬まれることによって感染する「つつが虫病」にもご注意ください。高知県では秋から冬にかけて多く報告されており、ダニの一種である「ツツガムシの幼虫（0.2mm）」が媒介する感染症です。全てのツツガムシが病原体を持っているわけではありません。

予防対策については、マダニと同じく「ツツガムシに咬まれない」ことです。

屋外活動する時には、長袖や長ズボンで肌の露出を避けることや、ツツガムシに対する虫除け剤（有効成分：ディート）を活用するなどマダニと同様の対策をして注意しましょう。

### 発熱等の症状が出たとき

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診してください。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出てください。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）  
[http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts\\_qa.html](http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html)
- 高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット  
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

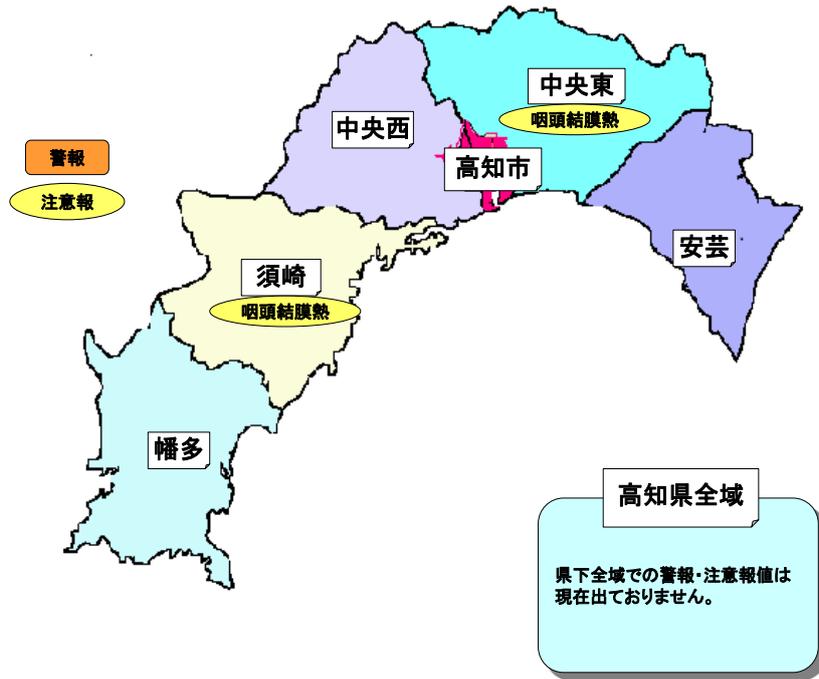
### ★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症（上位疾患）

↑：急増    ↗：増加    →：横ばい    ↘：減少    ↓：急減

疾病名	推移	定点当たり 報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	→	4. 1 0	安芸で急減、高知市で減少していますが、中央西、幡多で増加しています。
A 群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	→	1. 7 7	幡多で急減、中央東で減少していますが、須崎、中央西、安芸で急増、高知市で増加しています。
インフルエンザ	↗	1. 1 5	中央西、須崎、幡多、安芸で急増、県全域、高知市で増加しています。
RS ウイルス感染症	↑	0. 7 0	幡多で急減していますが、県全域、須崎、高知市、中央東で急増しています。
咽頭結膜熱	↗	0. 4 7	幡多で急減していますが、須崎、中央西で急増、県全域、高知市で増加し、須崎、中央東では注意報値を超えています。

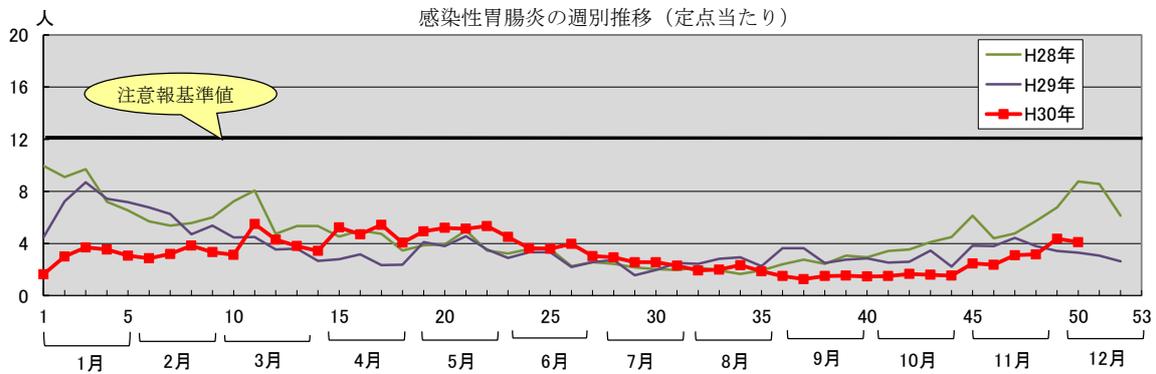
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

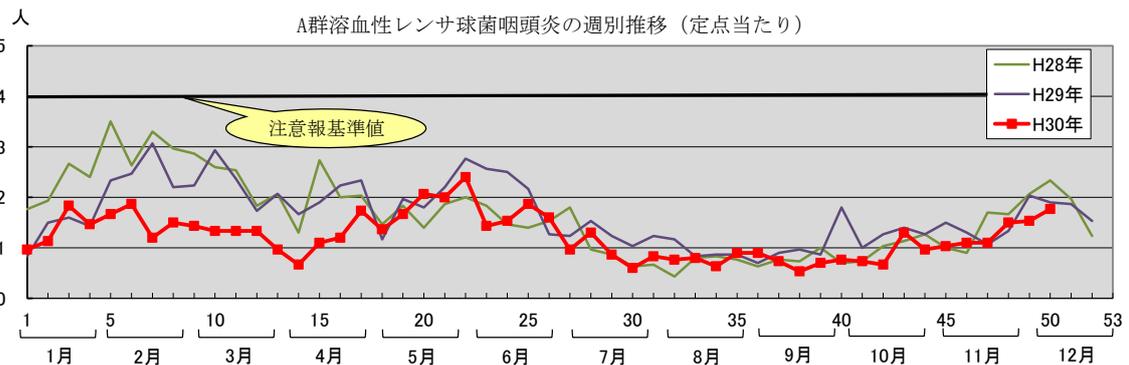
○感染性胃腸炎 第50週：4.10（注意報値：12.00 警報値：20.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり4.10（前週：4.37）と横ばいです。安芸0.50（前週：2.50）で急減、高知市3.82（前週：4.82）で減少していますが、中央西4.00（前週：3.33）幡多3.40（前週：2.40）で増加しています。



○A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 第50週：1.77（注意報値：4.00 警報値：8.00）

定点医療機関からの報告数は定点当たり1.77（前週：1.53）と横ばいです。幡多0.00（前週：0.40）で急減、中央東1.43（前週：1.86）で減少していますが、須崎2.00（前週：1.00）中央西1.33（前週：0.33）安芸0.50（前週：0.00）で急増、高知市3.09（前週：2.55）で増加しています。



★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
50	インフルエンザ	39℃,	40	男	須崎	Influenza virus A H1pdm09
50	インフルエンザ	39℃,咳嗽,上気道炎,	12	男	高知市	Influenza virus A H3 NT
50	インフルエンザ	38℃,上気道炎,	12	男	高知市	Influenza virus A H3 NT
50	感染性胃腸炎	下痢,嘔吐,嘔気,	1	男	須崎	Norovirus GII NT

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
48	咽頭結膜熱、アデノウイルス感染症の疑い	40℃,咳嗽,肺炎,発疹,結膜炎,	4	女	中央東	Rhinovirus
48	気管支喘息	38℃,咳嗽,上気道炎,	2	男	中央東	Rhinovirus
49	感染性胃腸炎	下痢,	1	男	須崎	Adenovirus 2
49	アデノウイルス、ロタウイルス	下痢,嘔吐,嘔気,	9ヶ月	女	中央東	Adenovirus 6
49	-		3	男	高知市	Rhinovirus
49	感染性胃腸炎	下痢,腹痛,	4	女	須崎	Salmonella Enteritidis

※インフルエンザ流行期（定点当たり報告数1を超える）の対応については、インフルエンザ病原体定点医療機関宛に別途ご案内をFAXさせていただきますので、ご確認をお願いいたします。

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結核	1	96	80歳代 男	中央西
5類	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	21	70歳代 男	高知市
	梅毒	1	18	50歳代 男	
	百日咳	1	166	20歳代 男	安芸

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
中央東	早明浦病院小児科	感染性胃腸炎（エルシニア <i>Y. enterocolitica</i> ）検出1例（1歳女） アデノウイルス感染性胃腸炎1例（1歳男） アデノウイルス感染症増加中
高知市	けら小児科・アレルギー科	病原性大腸菌 O-25 腸炎1例（0歳） 病原性大腸菌 O-6 腸炎1例（11歳） ノロウイルス胃腸炎2例（0歳、3歳）
	高知医療センター小児科	病原性大腸菌1例（1歳男） 咽頭結膜熱1例（3歳男）
	三愛病院小児科	アデノウイルス感染症1例（1歳男）
	福井小児科・内科・循環器科	インフルエンザ1例 溶連菌感染症4例 手足口病1例
中央西	くぼたこどもクリニック	アデノウイルス扁桃炎1例（1歳男） アデノウイルス感染症1例（3歳女） 口唇ヘルペス1例（21歳女） インフルエンザA型1例（8歳男：仁淀川町） 水痘1例（12歳女：ワクチン接種済み）
須崎	もりはた小児科	流行性角結膜炎2例 感染性胃腸炎（ノロ陽性）3例

## ★全国情報

### 第48号（11月26日～12月2日）

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核364例

3類感染症：細菌性赤痢4例、腸管出血性大腸菌感染症25例、パラチフス1例

4類感染症：E型肝炎6例、A型肝炎7例、重症熱性血小板減少症候群1例、つつが虫病56例  
デング熱4例、日本紅斑熱1例、レジオネラ症30例

5類感染症：アメーバ赤痢8例、ウイルス性肝炎7例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症38例  
急性弛緩性麻痺1例、急性脳炎3例、クロイツフェルト・ヤコブ病4例、  
劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例、後天性免疫不全症候群10例  
侵襲性インフルエンザ菌感染症7例、侵襲性肺炎球菌感染症54例、水痘（入院例に限る）8例、  
梅毒98例、播種性クリプトコックス症3例、百日咳285例、風しん118例、麻しん2例、  
薬剤耐性アシネトバクター感染症2例

削除予定：麻しん1例

報告遅れ：細菌性赤痢2例、E型肝炎1例、つつが虫病5例、レジオネラ症7例  
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症14例、急性弛緩性麻痺2例  
急性脳炎7例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症7例、侵襲性髄膜炎菌感染症1例  
水痘（入院例に限る）7例、梅毒56例、播種性クリプトコックス症2例、百日咳123例  
風しん31例

---

### ※年末・年始の週報について

来週（第51週）は12月24日(月)が祝日のため12月27日(木)に発行させていただきます。

また、第52週（12月24日から12月30日）の週報は年末年始の影響で報告が遅れるため、

第52週・第1週（平成30年12月31日から平成31年1月6日）との合併号として、平成31年1月9日(水)に発行します。

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第50週 平成30年12月10日(月)～平成30年12月16日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第50週							計	前週	全国(49週)	高知県(50週末累計)		全国(49週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H30/1/1～H30/12/16				H30/1/1～H30/12/9			
インフルエンザ	インフルエンザ		2	10	24	7	4	8	55 ( 1.15)	34 ( 0.71)	8,438 ( 1.70)	20,996 ( 437.42)	1,787,060 ( 361.75)			
小児科	咽頭結核熱			7	3	1	3		14 ( 0.47)	10 ( 0.33)	2,085 ( 0.66)	517 ( 17.23)	67,632 ( 21.44)			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		1	10	34	4	4		53 ( 1.77)	46 ( 1.53)	9,682 ( 3.07)	1,850 ( 61.67)	331,804 ( 105.20)			
	感染性胃腸炎		1	36	42	12	15	17	123 ( 4.10)	131 ( 4.37)	27,974 ( 8.86)	4,762 ( 158.73)	764,647 ( 242.44)			
	水痘			1	4	2		3	10 ( 0.33)	5 ( 0.17)	1,905 ( 0.60)	279 ( 9.30)	49,504 ( 15.70)			
	手足口病			5	4	1			10 ( 0.33)	20 ( 0.67)	1,943 ( 0.62)	1,170 ( 39.00)	118,216 ( 37.48)			
	伝染性紅斑			2	4				6 ( 0.20)	5 ( 0.17)	3,026 ( 0.96)	184 ( 6.13)	41,259 ( 13.08)			
	突発性発疹		1		4			1	7 ( 0.23)	7 ( 0.23)	1,317 ( 0.42)	523 ( 17.43)	67,759 ( 21.48)			
	ヘルパンギーナ					1			1 ( 0.03)	3 ( 0.10)	335 ( 0.11)	476 ( 15.87)	98,689 ( 31.29)			
	流行性耳下腺炎					1			1 ( 0.03)	4 ( 0.13)	398 ( 0.13)	71 ( 2.37)	22,630 ( 7.18)			
	RSウイルス感染症			6	12			3	21 ( 0.70)	8 ( 0.27)	1,609 ( 0.51)	1,122 ( 37.40)	115,539 ( 36.63)			
眼科	急性出血性結膜炎								( )	( )	11 ( 0.02)	( )	527 ( 0.76)			
	流行性角結膜炎			1					1 ( 0.33)	1 ( 0.33)	655 ( 0.94)	112 ( 37.33)	28,728 ( 41.28)			
基幹	細菌性髄膜炎								( )	( )	11 ( 0.02)	5 ( 0.63)	479 ( 1.00)			
	無菌性髄膜炎								( )	( )	15 ( 0.03)	1 ( 0.13)	770 ( 1.60)			
	マイコプラズマ肺炎				3				3 ( 0.38)	( )	178 ( 0.37)	99 ( 12.38)	5,105 ( 10.64)			
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								( )	( )	3 ( 0.01)	20 ( 2.50)	140 ( 0.29)			
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)								( )	( )	19 ( 0.04)	34 ( 4.25)	3,162 ( 6.59)			
	計(小児科定点当たり人数)		5 ( 2.00)	77 ( 10.48)	135 ( 11.21)	29 ( 8.72)	30 ( 14.00)	29 ( 5.20)	305 ( 9.34)			59,604	32,221 ( 802.55)	3,503,650		
前週(小児科定点当たり人数)		6 ( 3.00)	86 ( 11.83)	120 ( 10.24)	21 ( 6.58)	22 ( 10.50)	19 ( 3.80)		274 ( 8.68)							

注 ( )は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第50週							計	前週	全国(49週)	高知県(50週末累計)		全国(49週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H30/1/1～H30/12/16				H30/1/1～H30/12/9			
インフルエンザ	インフルエンザ		0.50	0.91	1.50	1.40	1.00	1.00	1.15	0.71	1.70	437.42	361.75			
小児科	咽頭結核熱			1.00	0.27	0.33	1.50		0.47	0.33	0.66	17.23	21.44			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.50	1.43	3.09	1.33	2.00		1.77	1.53	3.07	61.67	105.20			
	感染性胃腸炎		0.50	5.14	3.82	4.00	7.50	3.40	4.10	4.37	8.86	158.73	242.44			
	水痘			0.14	0.36	0.67		0.60	0.33	0.17	0.60	9.30	15.70			
	手足口病			0.71	0.36	0.33			0.33	0.67	0.62	39.00	37.48			
	伝染性紅斑			0.29	0.36				0.20	0.17	0.96	6.13	13.08			
	突発性発疹		0.50		0.36		0.50	0.20	0.23	0.23	0.42	17.43	21.48			
	ヘルパンギーナ					0.33			0.03	0.10	0.11	15.87	31.29			
	流行性耳下腺炎					0.33			0.03	0.13	0.13	2.37	7.18			
	RSウイルス感染症			0.86	1.09		1.50		0.70	0.27	0.51	37.40	36.63			
眼科	急性出血性結膜炎										0.02	0.76				
	流行性角結膜炎			1.00					0.33	0.33	0.94	37.33	41.28			
基幹	細菌性髄膜炎										0.02	0.63	1.00			
	無菌性髄膜炎										0.03	0.13	1.60			
	マイコプラズマ肺炎				0.60				0.38		0.37	12.38	10.64			
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)										0.01	2.50	0.29			
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)										0.04	4.25	6.59				
計(小児科定点当たり人数)		2.00	10.48	11.21	8.72	14.00	5.20	9.34			802.55					
前週(小児科定点当たり人数)		3.00	11.83	10.24	6.58	10.50	3.80		8.68							

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）  
 〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎1階）  
 TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869  
 この情報に記載のデータは2018年12月17日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。